

# The Fragrant Sublime: Koryŏ Buddhist Paintings

特別展

## 高麗仏画

香りたつ装飾美

朝鮮半島全域を統一した高麗国(九一八〜一三九二)は、激動する東アジアの勢力地図のなかで、四七〇年間の長きを生き抜いた王朝です。国家の安寧や除災を仏教に祈願した高麗王朝では、仏教文化が一大隆盛期を迎えました。この時代に制作された仏教絵画―高麗仏画―は、現在およそ一六〇件余が確認されています。阿弥陀如来の偉容や、慈悲に満ちた観音菩薩に代表される高麗仏画は、彼の地の信仰や美意識の結晶であるだけでなく、日本を含む東アジアの文化交流の歴史を知るうえで重要な意味をもっています。

「高麗仏画―香りたつ装飾美―」展は、泉屋博古館との共同企画により、ほぼ四〇年ぶりに行う高麗仏画をテーマとした展覧会で、東京では初めての開催となります。

根津美術館では、大幅の変相図をはじめ、阿弥陀、観音、地藏、羅漢などを描いた尊像画の名品二十六件に、精緻な装飾経や仏具の優品を加えた計三十八件の絵画・工芸の作品を展示いたします。

至元二十三年(二八六)銘「阿弥陀如来像」(団体所有)、大徳十年(二二〇六)銘「阿弥陀如来像」(重要文化財、根津美術館蔵)、至治三年(一三三三)銘「水月観音像」(重要文化財、泉屋博古館蔵)、「地藏菩薩像」(重要文化財、神奈川・円覚寺蔵)といった名品が一堂に並ぶ壮観は、本展のみどころといえるでしょう。

最新の研究成果を活かした本展覧会をとおして、日本の仏画の趣きとは異なる、隣国に花開いた静謐な美の世界をご鑑賞いただければ幸いです。

根津美術館  
NEZUMUSEUM

2017年 3月4日(土)〜3月31日(金)

【休館日】 毎週月曜日、ただし3月20日(月・祝)は開館 翌21日(火)休館



展示室1・2  
特別展

# 高麗仏画

香り立つ装飾美

重要文化財 水月観音像 徐九万筆 1幅 絹本着色  
朝鮮・高麗時代 1323年(至治3年・忠肅王10年) 泉屋博古館蔵



水波が打ち寄せる岩に坐す水月観音の慈悲に、高麗の人々は救いを求めた。『華嚴経』入法界品にもとづく、善財童子が補陀落山の観音菩薩を訪れる場面。本展覧会では、泉屋博古館と京都・大徳寺が所蔵する水月観音像の名品がならぶ。

重要文化財 阿弥陀如来像 1幅 絹本着色  
朝鮮・高麗時代 1306年(大徳10年・忠烈王32年) 根津美術館蔵



この年、高麗国の忠烈王は、中国・元の都で命の危険にさらされる窮地に陥っていた。画中に記された銘文から、高麗の重臣権暉が阿弥陀像を画師に描かせ、王の帰還を祈ったことが知られる。名画はまた歴史の証人でもある。

重要文化財 万五千仏図 1幅 絹本着色  
朝鮮・高麗時代 13世紀 広島・不動院蔵



観音菩薩の切れ味のよい表情が印象的な作品。よく見ると衣にも周囲の表装にも、小さな仏をびっしりと描きこむのがみえる。仏が充滿する華嚴蔵世界に観音が出現する図と考えられる。

堺市指定文化財 阿弥陀三尊像 1幅 絹本着色  
朝鮮・高麗時代 13、14世紀 大阪・法道寺蔵



本展では、阿弥陀の独尊、観音・勢至をしたがえた三尊、八大菩薩を描いた阿弥陀八大菩薩像の優品が並ぶ。法道寺本は、的確な描写や宋代絵画を思わせる清明な色調が美しい作品。

茨城県指定文化財 観経十六観变相図 1幅 絹本着色  
朝鮮・高麗時代 13、14世紀 茨城・大高寺蔵



極楽往生を想観するための十六の観法を图解する。高麗仏教における浄土観が見られるのみならず、おらかな筆致や落ち着いた色調に、中国・北宋絵画との関係がうかがわれる重要な作品。

重要文化財 地藏菩薩像 1幅 絹本着色  
朝鮮・高麗時代 13、14世紀 神奈川・円覚寺蔵



頭頂を頭巾で覆う地藏像は、遙か西域から中国を経由して朝鮮半島に伝わった。堂々たる姿の地藏菩薩に、地獄を見聞した僧道明と地獄の案内人である無毒鬼王を組み合わせた三尊構成である。その存在感は見る者を圧倒する。

紺紙銀字妙法蓮華經 7帖 紺紙銀字  
朝鮮・高麗時代 1353年(至正13年・恭愍王2年)  
根津美術館蔵



高麗時代には、濃紺の料紙に金・銀の経文を記した壮麗な写経が数多く制作された。見返しに描かれた経意絵は、高麗後期になるにつれ、執拗なまでに色彩を使う濃厚な作風へと展開する。

【その他の主な出品作品】 ※は3月4日～3月20日の展示

- |       |                 |         |          |
|-------|-----------------|---------|----------|
| 重要文化財 | 帝釈天像            | 13～14世紀 | 京都・聖澤院   |
| 重要文化財 | 阿弥陀如来像          | 1286年   | 団体所有     |
| 重要文化財 | 阿弥陀三尊像          | 14世紀    | 根津美術館    |
| 重要文化財 | 阿弥陀三尊・二比丘像      | 1330年   | 埼玉・法恩寺   |
| 重要文化財 | 阿弥陀八大菩薩像        | 14世紀    | 東京藝術大学   |
| 重要文化財 | 阿弥陀八大菩薩像        | 14世紀    | 徳川美術館    |
| 重要文化財 | 水月観音像           | 13～14世紀 | 東京・浅草寺   |
| 重要文化財 | 水月観音像           | 13～14世紀 | 大和文華館    |
| 重要美術品 | 水月観音像           | 14世紀    | 京都・大徳寺   |
| 重要美術品 | 地藏十王像           | 14世紀    | 静嘉堂文庫美術館 |
| 重要文化財 | 釈迦三尊十六羅漢像       | 14世紀    | 根津美術館    |
| 重要文化財 | 紺紙金字大宝積経 卷第三十二※ | 1006年   | 京都国立博物館  |
| 重要文化財 | 螺鈿菊花文経箱         | 12～13世紀 | 東京国立博物館  |
| 重要文化財 | 青磁陰刻蓮華唐草文浄瓶     | 12世紀    | 根津美術館    |
| 重要文化財 | 青銅銀象嵌蒲柳水禽文穰浄瓶   | 13世紀    | 泉屋博古館    |
| 重要文化財 | 青銅銀象嵌梵字玉相華唐草文香炉 | 13～14世紀 | 根津美術館    |

— 同時開催 —

展示室 5

更紗の魅力

更紗は、インドから渡来した異国的な文様を色鮮やかに染めた木綿布。16世紀中ごろ以降、スペインやポルトガル、オランダの商船によってもたらされ、将軍に献上され珍重されました。

- 白地鶏頭文布 玄悦茶碗箱包布
  - 1枚 木綿 インド 16世紀
- 根津美術館蔵



白地に鉄分を含んだ黒い染料で、鶏頭とよばれる草花文を木型で表している。インド更紗は藍や茜に加え、黄や黒など色彩が豊かであるのが特徴である。

- 茜地花唐草文布
  - 1枚 木綿 インド 16世紀
- 根津美術館蔵



貴重な舶来品であった更紗は、茶の湯の器の包み布として活躍した。大切にされた茶道具と共に、昔のままの色をとどめた鮮やかな更紗が今に伝わっている。

展示室 6

大師会と根津青山

明治より現代まで続く茶会「大師会」。当館の基礎となるコレクションを蒐集した根津青山など、多くの近代数寄者が集いました。

- 重要文化財 崔氏玉座右銘断簡(部分) 空海筆
  - 1巻 紙本墨書 日本・平安時代 9世紀
- 東京・大師会蔵



後漢時代の儒者・崔子玉の座右銘を、空海(弘法大師)が書写した。明治の茶人・益田鈍翁がこれを披露する茶会を催したことが大師会の始まりである。

- 正意茶入 銘六祖 瀬戸
  - 1口 施釉陶器 日本・江戸時代 17世紀
- 根津美術館蔵



銘「六祖」とは中国禪宗の第六番目の祖とされる慧能のこと。大師会では、弘法大師への法要の意を込め、仏教にちなんだ作品が用いられる。

## 関連プログラム

### 講演会 1

事前申込制

「高麗仏画の領分

— 中国・日本の仏画との比較から見えてくる世界 —

日時 3月19日(日) 午後2時～3時30分

講師 井手 誠之輔氏

(九州大学大学院人文科学研究科 教授)

### 講演会 2

事前申込制

「仏への祈りであじまる高麗史」

日時 3月26日(日) 午後2時～3時30分

講師 森平 雅彦氏

(九州大学大学院人文科学研究科 教授)

会場 いずれも根津美術館 講堂

定員 いずれも130名

当館ホームページの「イベント情報」の申込みフォームから、または往復はがき(1参加者につき1枚)に参加を希望される講演会名・住所・氏名(返信面にも)・電話番号を明記の上、〒107-0062 東京都港区南青山6-5-1 根津美術館講演会係宛にお送りください。  
※先着順で定員になり次第締め切らせていただきます。

スライド  
レクチャー  
事前申込不要

担当学芸員より「高麗仏画」展全体の見どころを、それぞれのテーマで解説いたします。

3月10日(金) 高麗のほとけたち

3月17日(金) 高麗仏画の色とかたち

3月24日(金) 高麗仏画の修復と発見

会場 根津美術館 講堂

定員 いずれも130名

各回とも午後1時30分より45分間程度。開始の15分前より開場。

※先着順で定員になり次第締め切らせていただきます。

## 開催概要

展覧会名 特別展「高麗仏画 — 香りたつ装飾美 —」

主催 根津美術館

特別協力 泉屋博古館

開催期間 2017年3月4日(土)～3月31日(金)

開館時間 午前10時～午後5時「入館は午後4時30分まで」

休館日 毎週月曜日、ただし3月20日(月)祝は開館、翌21日火は休館

入館料 一般1300円(1100円) 学生1000円(800円)

(C)内は20名以上の団体料金、中学生以下無料

前売券 一般1100円 学生800円

※2017年1月7日(土)～2月19日(日)「染付誕生400年」展

開催期間中、根津美術館ミュージアムショップにて販売

アクセス 地下鉄銀座線・半蔵門線・千代田線(表参道)駅下車A5出口

(階段より徒歩8分、B4出口(階段とエスカレーター)より徒歩

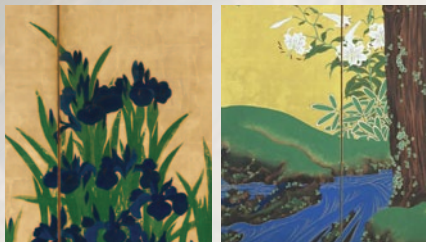
10分、B3出口(エレベーターまたはエスカレーター)より徒歩10分

〒107-0062 東京都港区南青山6-5-1

TEL 03-3400-2536 (代表)

お問合せ <http://www.nzu-nuse.or.jp>

## 次回展



特別展

かきつばたず なつあきけいりゆうず

燕子花図と夏秋溪流図

2017年

4月12日(水)～5月14日(日)

尾形光琳と鈴木其一。根津美術館が誇る琳派の2大傑作を合わせてご堪能いただけます。

夏秋溪流図屏風 尾形光琳筆 日本・江戸時代 19世紀  
国宝 燕子花図屏風 尾形光琳筆 日本・江戸時代 18世紀  
いずれも根津美術館蔵